



高輪だより

平成28年4月号

港区立高輪幼稚園
園長 新山 裕之

＜子どもたちと一緒に育てるパートナー＞

園庭の桜が美しく咲き、そして花吹雪が舞っています。出会いの春、新しい仲間を迎え、開園して41年目が始まります。どんな一年になるか楽しみです。新入園の方の中には、ほとんどの時間を家庭で親子だけで過ごしてきた方もいることでしょう。これからは幼稚園が子育てのパートナーです。子どもの育ちに関しては、私たちは専門性や経験をもっています。困っていることは一人で抱え込まず、何でも気軽にご相談ください。子育てほどすてきで魅力的な営みはありません。どうぞ一緒に幼稚園生活を楽しみましょう。

＜心の根っこを育てよう＞

幹や枝葉が立派な木は、地面の下に根っこがしっかり育っています。多様な木々に恵まれた高輪幼稚園。その木々は、まさに将来の日本を背負って立つ子どもたちになぞらえられます。私たちは、子どもたちが個性豊かな立派な木々として育つために、その根っこを丁寧に育てます。家庭や地域とのつながりを大切にしながら、身近な人や自然とのかかわりから生まれる遊びや生活を通して、子どもたち一人一人に、人への信頼感を基盤とした主体的に生きる構えを育てましょう。

＜高輪を みんなの 心のふるさとに＞

昨年まで、園経営のビジョンについて説明するときには「子どもたちを真ん中に、教職員や保護者、地域の方々も含めてみんなにとって心に残る日々を創り出していきたい」と話していました。子どもたちの育ちは、私たち大人の育ちとともにあると思うからです。そんな思いを込めて、今年度は「高輪を 子どもたちの 心のふるさとに」を少し広げて「高輪を みんなの 心のふるさとに」としたいと思います。一年間、皆さんと共に進めていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

・・・卯月（うづき）・・・

清明（5日）… 園庭の花が鮮やかな彩りを見せます …

穀雨（20日）… 草木の緑が一気に伸びていきます …

都会でも、道端に咲く可憐な花などに出会う機会はたくさんあります。港区は意外と自然が豊かです。勤務する園の自然や季節の移ろいを「二十四節気」に合わせてお知らせし続けて10年になります。身近な自然の変化に気付く心は、子どもの心のサインに気付く感性を磨くことにもなると思い、続けているコラムです。「高輪の二十四節気」も4年目を迎えます。この小さなコラムが、皆さんの身近な自然の変化に思いを寄せるきっかけになれば幸いです。

高輪の
二十四節気



今年も園庭の桜はきれいに咲き…



桜吹雪となり、新緑に移っていきます



少し落ち着いてきた頃に
3歳の園庭デビューを5歳が手伝います



今年も高輪探検隊に出掛けます。
初回は高輪公園へ！



工事のお陰できれいな塀になりました